

＜第7次福島県総合教育計画＞R4年度～R12年度までの9年間
＜福島県で育成人間像＞
“急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人”
＜6つの施策＞
施策1 「学びの変革」によって資質・能力を確実に育成する
施策2 「学校の在り方の変革」によって教員の力、学校の力を最大化する
施策3 学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に
変える土壌をつくる
施策4 福島で学び、福島に誇りを持つことのできる「福島を生きる」教育を推進する
施策5 人生100年時代を見通した多様な学びの場をつくる
施策6 安心して学べる環境を整備する

南会津町立田島第二小学校
令和7年度学校経営・運営ビジョン

学校教育目標
思いやりのある子（徳）
よく考える子（知）
たくましい子（体）

令和7年度南会津町教育委員会重点施策
【教育大綱】＜次世代の地域を担う人材の育成＞
Ⅰ 自ら学ぶ人を育みます
Ⅱ 町を愛し、協働の心を持った思いやりのある人を育みます
Ⅲ 伝統文化の保存と継承に努め、心豊かな人を育みます
【目標の柱4】 世代を超えて「南会津愛」を育む“共育”のまちづくり
○施策13 学ぶ力を育てる学校教育の推進 ○施策14 生涯を通じた学びの場の提供
(1) 学力と主体性の向上 (1) 生涯学習の充実
(2) 体験と交流を通じた郷土愛の醸成 (2) 生涯スポーツの発展
(3) 安心して学べる教育環境の充実 (3) 家庭教育力の向上

児童の実態
○ 元気なあいさつができる子が多い。
○ 休み時間は、個々の楽しみに存分に
浸る子が多い。
○ 自ら学ぼうとする児童が少ない。
○ 運動の二極化がある。
○ 南会津町は好きだが、もっとよくし
たいと思う子は多くない。
子どもへの願い
○ 温かい言葉遣いができ、全ての
友だちを大切にできる子ども。
○ 主体的に学び自分の考えを伝え
ることができる子ども。
○ 主体的に運動する子ども。
○ まちを愛する心豊かな子ども。
保護者の願い
○ 学ぶ意欲や学力の向上
○ 協力・助け合いのできる子ども
○ 礼儀正しく、善悪の判断ができる子ども

教師像
○ 子どものあこがれの教師 ○ 常に、子どもに寄り添う教師
○ 協力・助け合い・思いやりのある教師 ○ 子どもに学びを保障する教師
○ 自らが学びの環境であることを自覚し、努力する教師
○ 夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向かって教師力を磨く教師
学校像
児童が「学校に来るのが楽しい」と思える学校、保護者が「二小に通わせたい」と思え
る学校、教職員が「やりがい」を感じる学校の実現のために、相手を思いやり、みんなが
協働し合う学校を目指す。

学校経営スローガン
一人一人を大切にしたい学校づくり

＜「思いやりのある子」の重点目標＞
明るく、礼儀正しく行動する子ども

＜「よく考える子」の重点目標＞
伝え合い、主体的に学ぶ子ども

＜「たくましい子」の重点目標＞
心と体を鍛える子ども

【具体的な実践事項】
1 基本的な生活習慣の定着
(1) 温かい心を育てる言動の育成
(2) 基本的なマナーやルールなどの生活習慣の定着
2 思いやりの心の育成
(1) 「特別の教科 道徳」の授業の充実
(2) 一人の人間として尊重される人間関係の醸成
3 体験活動の推進
(1) 郷土を愛する活動への積極的な取り組み
(2) 体験を通し主体的に活動する子どもの育成

【具体的な実践事項】
1 指導力の向上
(1) 「指導15分以内、学び30分以上」の授業の充実
(2) 指導力向上をめざす校内研修(算数科・ICT活用)
(3) 特別支援教育の推進(ユニバーサルデザインの授業)
2 学びの習慣の育成
(1) 主体的に取り組む家庭学習習慣の定着
(2) 言語活動の充実を図る読書活動の推進
3 伝え合う力の育成
(1) 各教科での「話す・聞く・話し合う」活動の充実
(2) 互いに自分の考えを伝え合う場の設定

【具体的な実践事項】
1 健康的な生活習慣の確立(健康マネジメント能力)
(1) 肥満とむし歯予防の保健指導の充実
(2) 家庭と連携した衛生習慣の形成
2 自ら進んで体を鍛える児童の育成
(1) 運動の日常化と習慣化
(2) 目標の達成をめざした記録の累積
3 安心・安全に活動できる学校
(1) 安心・安全な学校体制の確立(地域・保護者との連携)
(2) 交通事故や災害等への危機管理能力の育成

【到達目標】
・自分から進んであいさつ、返事・主体的な言動
・思いやりのある言葉かけ・ボランティア活動の実施

【到達目標】
・児童の学びの時間30分以上・主体的な学習準備
・タブレット等活用スキルアップ・発表回数1日5回以上

【到達目標】
・自分手帳の有効活用(健康、運動、食生活)
・マラソンカードの達成
・運動身体づくりプログラムの自校化・登下校の安全

《学校・家庭・地域・関係機関との連携・支援》
各幼保小中高等学校 PTA 老人会 見守り隊 スクールサポーター スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー
保健福祉事務所 農林事務所 南会津相談室 町生涯学習課 四地区区長 スポーツ少年団